

第3部：『魔方陣の新研究』： 摂田 寛二

第6章：八方陣の代数的研究（2000, 2008年版の清書稿）

七方陣より先に八方陣の論考がまとまつたので、対称型、完全型、正方連結型の3種類の八方陣についての研究成果を報告する（2000, 2008年に発表したままを再録した）。

第1節：補数対称型八方陣の代数的研究

0. 先ず補数対称型八方陣。略称して「対称八方陣」と言うが、方陣の幾何学的な中心を中心点として、相互に対称の位置にあるどの2数の間にも定和を要請する方陣である。今回も「点対称型」のみを調べる。行列の定和や対角線の定和など一般的な方陣の特徴については、すべてこれを兼ね備えているものとする。

いつものように図と式で基本条件を定義する。1～64の自然数を全数個欠落なく重複なく用いて、全条件を満たさなくてはならない。

1. 基本ポジションと変数名

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56
57	58	59	60	61	62	63	64

2. 定義の連立方程式群

$$n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 = K \dots (1)$$

$$n_9 + n_{10} + n_{11} + n_{12} + n_{13} + n_{14} + n_{15} + n_{16} = K \dots (2)$$

$$n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} = K \dots (3)$$

$$n_{25} + n_{26} + n_{27} + n_{28} + n_{29} + n_{30} + n_{31} + n_{32} = K \dots (4)$$

$$n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} = K \dots (5)$$

$$n_{41} + n_{42} + n_{43} + n_{44} + n_{45} + n_{46} + n_{47} + n_{48} = K \dots (6)$$

$$n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} = K \dots (7)$$

$$n_{57} + n_{58} + n_{59} + n_{60} + n_{61} + n_{62} + n_{63} + n_{64} = K \dots (8)$$

$$n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25} + n_{33} + n_{41} + n_{49} + n_{57} = K \dots (9)$$

$$n_2 + n_{10} + n_{18} + n_{26} + n_{34} + n_{42} + n_{50} + n_{58} = K \dots (10)$$

$$n_3 + n_{11} + n_{19} + n_{27} + n_{35} + n_{43} + n_{51} + n_{59} = K \dots (11)$$

$$n_4 + n_{12} + n_{20} + n_{28} + n_{36} + n_{44} + n_{52} + n_{60} = K \dots (12)$$

$$n_5 + n_{13} + n_{21} + n_{29} + n_{37} + n_{45} + n_{53} + n_{61} = K \dots (13)$$

$$n_6 + n_{14} + n_{22} + n_{30} + n_{38} + n_{46} + n_{54} + n_{62} = K \dots (14)$$

$$n_7 + n_{15} + n_{23} + n_{31} + n_{39} + n_{47} + n_{55} + n_{63} = K \dots (15)$$

$$n_8 + n_{16} + n_{24} + n_{32} + n_{40} + n_{48} + n_{56} + n_{64} = K \dots (16)$$

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = K \dots (17)$$

(17), (18)式は、対角線上の8数を示す。 $n_8 + n_{15} + n_{22} + n_{29} + n_{36} + n_{43} + n_{50} + n_{57} = K \dots (18)$

点対称八方陣では、この18式の他に次の32組の補数ペアを持つ。

$$\begin{aligned} n_1 + n_{64} &= n_2 + n_{63} = n_3 + n_{62} = n_4 + n_{61} = n_5 + n_{60} = n_6 + n_{59} = n_7 + n_{58} = n_8 + n_{57} = \\ n_9 + n_{56} &= n_{10} + n_{55} = n_{11} + n_{54} = n_{12} + n_{53} = n_{13} + n_{52} = n_{14} + n_{51} = n_{15} + n_{50} = n_{16} + n_{49} = \\ n_{17} + n_{48} &= n_{18} + n_{47} = n_{19} + n_{46} = n_{20} + n_{45} = n_{21} + n_{44} = n_{22} + n_{43} = n_{23} + n_{42} = n_{24} + n_{41} = \\ n_{25} + n_{40} &= n_{26} + n_{39} = n_{27} + n_{38} = n_{28} + n_{37} = n_{29} + n_{36} = n_{30} + n_{35} = n_{31} + n_{34} = n_{32} + n_{33} = C \end{aligned} \dots (19)$$

K, Cの値を予め計算しておこう。(1)～(8)の辺々を加える。

$$n_1 + n_2 + n_3 + \dots + n_{63} + n_{64} = 8 * K$$

左辺には1～64の自然数が全個重複なく入るから、その総和は

$$64 \times 65 \div 2 = 8 * K$$

$$\therefore K = 260 \dots (20)$$

(19)式から、次の4式を選んで辺々を加える。

$$n_1 + n_{64} = C, \quad n_{10} + n_{55} = C, \quad n_{19} + n_{46} = C, \quad n_{28} + n_{37} = C$$

$$n_1 + n_{64} + n_{10} + n_{55} + n_{19} + n_{46} + n_{28} + n_{37} = 4 * C$$

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = 4 * C$$

左辺は、(17)式と同じ内容であるから、 $\therefore K = 4 * C$
 $C = 260 \div 4 = 65 \dots \text{ (21)}$

(19)式の32ペアは、すべて65の補数群であるとわかった。

3. 具体的な方陣構成では、何といっても(19)式の補数ペアが役に立つ。 n_1 を決めれば、 n_{64} が決まる。 n_2 を決めれば、 n_{63} が決まる。 n_3 を決めれば、 n_{62} が決まる。…… n_{32} を決めれば、 n_{33} が決まる。 n_N を決めれば、 $n_{(65-N)}$ が決まるという関係は、積極的に活用すると、探索・構成の手間ひまを劇的に減らしてくれる。

しかも、(19)式は、うまく組み合わせると、対称方陣の様々な性質を説明してくれる。

$$\begin{array}{llll}
 n1+n64=C & n8+n57=C & \text{から} & n1+n8+n57+n64=130 \\
 n10+n55=C & n15+n50=C & \text{から} & n10+n15+n50+n55=130 \\
 n19+n46=C & n22+n43=C & \text{から} & n19+n22+n43+n46=130 \\
 n28+n37=C & n29+n36=C & \text{から} & n28+n29+n36+n37=130 \dots \dots (22)
 \end{array}$$

これらの式は、方陣内部で対角線の交点を同じくする大小4種類の正方形の頂点連結4数の定和を示している。

下図のような補数表現を用いると、一々(19)式を参照しなくても、関係が直観的に見て取れる。

[補数表現]

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
24	23	22	21	20	19	18	17
16	15	14	13	12	11	10	9
8	7	6	5	4	3	2	1

ところが、 $(n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25}) + (n_{25} + n_{17} + n_9 + n_1) = 4 * \overline{C} = K$

また、 $(n_8 + n_{16} + n_{24} + n_{32}) + (n_{32} + n_{24} + n_{16} + n_8) = 4 * C = K$

よって、 $n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25} = n_8 + n_{16} + n_{24} + n_{32}$

および $\underline{n25} + \underline{n17} + \underline{n9} + \underline{n1} = \underline{n32} + \underline{n24} + \underline{n16} + \underline{n8}$ が言えてしまう。

左図では、 $n64 = C - n1 = \underline{n1}$
 同様にして $n63 = C - n2 = \underline{n2}$
 $n62 = C - n3 = \underline{n3}$

 $n34 = C - n31 = \underline{n31}$
 $n33 = C - n32 = \underline{n32}$ と表している。
 もちろん $n1 + \underline{n1} = C$, $n2 + \underline{n2} = C$,
 $n3 + \underline{n3} = C$, , $n30 + \underline{n30} = C$,
 $n31 + \underline{n31} = C$, $n32 + \underline{n32} = C$ である。
 だから、例えば、対角線の式(17)は,
 $n1 + n10 + n19 + n28 + n37 + n46 + n55 + n64 =$
 $n1 + n10 + n19 + n28 + \underline{n28 + n19 + n10 + n1} =$
 $n1 + \underline{n1}) + (n10 + \underline{n10}) + (n19 + \underline{n19}) + (n28 + \underline{n28}) =$
 $C + C + C + C = 260 = K$
 と説明することができる。

ところで、左図の縦第1列と第8列を見てほしい。
 $n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25} + \underline{n_{32}} + \underline{n_{24}} + \underline{n_{16}} + \underline{n_8} = K$
 $n_8 + n_{16} + n_{24} + n_{32} + n_{25} + n_{17} + n_9 + n_1 = K$

同様にして $n_2 + n_{10} + n_{18} + n_{26} = n_7 + n_{15} + n_{23} + n_{31}$

$$n_{26} + n_{18} + n_{10} + n_2 \equiv n_{31} + n_{23} + n_{15} + n_7$$

$$\text{また } n_3 + n_{11} + n_{19} + n_{27} = n_6 + n_{14} + n_{22} + n_{30}$$

$$n_{27} + n_{19} + n_{11} + n_3 \equiv n_{30} + n_{22} + n_{14} + n_6$$

また $n4 + n12 + n20 + n28 = n5 + n13 + n21 + n29$

$$n_{28} + n_{20} + n_{12} + n_4 = n_{29} + n_{21} + n_{13} + n_5$$

横の行でも $n_1 + n_2 + n_3 + n_4 = n_8 + n_7 + n_6 + n_5$

$$n_5 + n_6 + n_7 + n_8 = \overline{n_4} + \overline{n_3} + \overline{n_2} + \overline{n_1}$$

また $n_9 + n_{10} + n_{11} + n_{12} = \underline{\hspace{1cm}} + \underline{\hspace{1cm}} + \underline{\hspace{1cm}} + \underline{\hspace{1cm}}$

— — — —

また $n_{13} + n_{14} + n_{15} + n_{16} = \underline{n_{12}} + \underline{n_{11}} + \underline{n_{10}} + n_9$
 $n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} = \underline{n_{24}} + \underline{n_{23}} + \underline{n_{22}} + n_{21}$

また $n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} = \underline{n_{20}} + \underline{n_{19}} + \underline{n_{18}} + n_{17}$
 $n_{25} + n_{26} + n_{27} + n_{28} = \underline{n_{32}} + \underline{n_{31}} + \underline{n_{30}} + n_{29}$

$n_{29} + n_{30} + n_{31} + n_{32} = \underline{n_{28}} + \underline{n_{27}} + \underline{n_{26}} + \underline{n_{25}}$ (23) も言える。

補数表現を元に戻せば、当然 $n_{28}=n_{37}$, $n_{27}=n_{38}$, $n_{26}=n_{39}$, $n_{25}=n_{40}$ のことである。
 だから、例えば最後の式は、 $n_{29} + n_{30} + n_{31} + n_{32} = n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40}$ を言っている。

4. 対称方陣では、いつでも行列の規則的な交換が可能である。交換しても、方陣の対称性は変わらず、様々な定和が成り立つ。そのために異形・派生形の生成が容易である。それらのチェックにもこの補数表現形は役立つ。

下図を見てほしい。いまは上下方向の行交換のみを示すが、左右方向の列交換も同様に可能である。

交換した後も、対称性が破られておらず、行列の定和が成り立つことを確かめてほしい。

対称八方陣 [補数表現] 原型 → 上下方向の (1-8) 交換

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
24	23	22	21	20	19	18	17
16	15	14	13	12	11	10	9
8	7	6	5	4	3	2	1

8	7	6	5	4	3	2	1
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
24	23	22	21	20	19	18	17
16	15	14	13	12	11	10	9
1	2	3	4	5	6	7	8

↓ 上下方向の (2-7) 交換 上下方向の (3-6) 交換

1	2	3	4	5	6	7	8
16	15	14	13	12	11	10	9
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
24	23	22	21	20	19	18	17
9	10	11	12	13	14	15	16
8	7	6	5	4	3	2	1

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
24	23	22	21	20	19	18	17
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
17	18	19	20	21	22	23	24
16	15	14	13	12	11	10	9
8	7	6	5	4	3	2	1

上下方向の (4-5) 交換 (1-4) & (5-8) 交換

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16

25	26	27	28	29	30	31	32
9	10	11	12	13	14	15	16

17	18	19	20	21	22	23	24
32	31	30	29	28	27	26	25
25	26	27	28	29	30	31	32
24	23	22	21	20	19	18	17
16	15	14	13	12	11	10	9
8	7	6	5	4	3	2	1

17	18	19	20	21	22	23	24
1	2	3	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1
24	23	22	21	20	19	18	17
16	15	14	13	12	11	10	9
32	31	30	29	28	27	26	25

(1-3) & (6-8) 交換

17	18	19	20	21	22	23	24
9	10	11	12	13	14	15	16
1	2	3	4	5	6	7	8
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
8	7	6	5	4	3	2	1
16	15	14	13	12	11	10	9
24	23	22	21	20	19	18	17

9	10	11	12	13	14	15	16
1	2	3	4	5	6	7	8
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
24	23	22	21	20	19	18	17
8	7	6	5	4	3	2	1
16	15	14	13	12	11	10	9

(1-2) & (7-8) 交換

一度に2行ずつそっくり交換することもできる。3行ずつも可。4行も可だ。

この交換を適宜連続して行えば、n1にあった数値を他のどのポジションにも移動することが可能であるばかりでなく、必要ならば、数値1をn1のホームポジションにいつでも戻すことができる。たとえ、他のどのポジションにあろうとも。

ということは、基本解を求める時に、n1 = 1 の場合を標準状態と仮定して良いことになり、その場合の全てを調べれば、他の場合の全てを調べたことと同じになる。

n1 = 1 と決めれば、例えば(1-8) 交換はもう起こらない。

そして、あらためて左右上下ともに無用の行列交換を禁止するために不等式を立てる。

n2 > n7; n3 < n6; n4 > n5; n9 > n49; n17 < n41; n25 > n33; また n2 > n3; n3 < n4; という不等式も立てる。

方陣の左右反転や回転移動が起こらないようにするために、例えばn2 > n9 とすることも忘れてはならない。

不等号の向きはどう決めてもかまわないが、一度決めた条件を途中で変えてはいけない。

5. 解は、無数にある。パソコンで何百万個数えても、全然先が見えない。時間がかかり過ぎて、途中で探索を諦めざるを得ない。

もう八方陣程の規模になると、1個ずつのカウントアップ法は用を成さない。解の総数の計算には、もっと賢い全体的考察とマクロなアルゴリズムが必要とされる。

解の一部のリストを次々頁に付す。変換した補数65型の完全八方陣も逐一添えよう。

その理由は、点対称八方陣の解の一つ一つが補数65型の完全八方陣の解と一対一に対応するからで、この2種類の解の間には相互にトランスフォームすることが可能な変換構成法が存在するのである。次ページの概念図と付録のデータ・リストを見てほしい。

先ず補数表現の対称八方陣からスタートする。

左右第5列～第8列を下図のように反転した形に入れ替える。次に上下第5行～第8行を反転した形に入れ替える。

4行ごとの交換を縦横に施すだけで、**対称八方陣が完全八方陣に書き変わるのである。**

次の拡張空間図を見てほしい。行列の定和だけでなく汎対角線の定和も成り立っている。

$n_1 + n_{11} = 65$ は、元の対称方陣で成り立つから、この完全方陣では $n_1 + n_{37} = 65$ が成り立つ。つまり、補数 65 型の完全八方陣が成り立つのである。

この変換構成法は、逆もまた可なり。完全方陣を点対称方陣に書き換えることができる。

つまり、この 2 種類の解の間には一対一の対応関係を想定して良いわけで、それゆえにこの 2 種類の方陣の解の総数は同じであると、推理することができる。

四方陣の時は 48 個。六方陣の時は 0 個しかなかったが、八方陣では、両方の解が無数に見つかる。しかも、同数個！

対称八方陣 [補数表現] 原型

→

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
32	31	30	29	28	27	26	25
24	23	22	21	20	19	18	17
16	15	14	13	12	11	10	9
8	7	6	5	4	3	2	1

1	2	3	4	8	7	6	5
9	10	11	12	16	15	14	13
17	18	19	20	24	23	22	21
25	26	27	28	32	31	30	29
32	31	30	29	25	26	27	28
24	23	22	21	17	18	19	20
16	15	14	13	9	10	11	12
8	7	6	5	1	2	3	4

下図に続く ↓

[出来上がり図を拡張した]

25	26	27	28	32	31	30	29	25	26	27	28	32	31	30	29	25
8	7	6	5	1	2	3	4	8	7	6	5	1	2	3	4	8
16	15	14	13	9	10	11	12	16	15	14	13	9	10	11	12	16
24	23	22	21	17	18	19	20	24	23	22	21	17	18	19	20	24
32	31	30	29	25	26	27	28	32	31	30	29	25	26	27	28	32
1	2	3	4	8	7	6	5	1	2	3	4	8	7	6	5	1
9	10	11	12	16	15	14	13	9	10	11	12	16	15	14	13	9
17	18	19	20	24	23	22	21	17	18	19	20	24	23	22	21	17
25	26	27	28	32	31	30	29	25	26	27	28	32	31	30	29	25
8	7	6	5	1	2	3	4	8	7	6	5	1	2	3	4	8

[点対称八方陣←→補数 65 型完全八方陣の変換構成法]

(On November 6, 2000(初稿) : MacOS9 & MWCW による計数;
 August 16, 2008(清書稿) : MacOSX & Xcode3.0: by 摂田 寛二(Kanji Setsuda);
 August 2, 2017(再計算清書稿) : macOS Sierra 10.12.6 & Xcode7.3;)

E-Mail Address: jag12001@nifty.com

【データ・リスト】

* 補数対称型八方陣の標準解の実例（部分）：変換した完全八方陣も併記した *

1/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 48 31 33 35 29 43 25 16 48 31 33 25 43 29 35
 45 26 38 23 37 24 46 21 45 26 38 23 21 46 24 37
 44 19 41 28 42 27 39 20 7 55 6 60 64 2 62 4
 40 22 36 30 32 34 17 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 40 22 36 30 49 17 34 32
 7 55 6 60 4 62 2 64 44 19 41 28 20 39 27 42

10933/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 45 28 33 34 30 48 26 16 45 28 33 26 48 30 34
 46 29 40 23 38 22 41 21 46 29 40 23 21 41 22 38
 44 24 43 27 42 25 36 19 7 55 6 60 64 2 62 4
 39 17 35 31 32 37 20 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 39 17 35 31 49 20 37 32
 7 55 6 60 4 62 2 64 44 24 43 27 19 36 25 42

21501/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 43 26 33 36 31 48 27 16 43 26 33 27 48 31 36
 46 30 42 24 37 21 40 20 46 30 42 24 20 40 21 37
 45 25 44 28 41 23 35 19 7 55 6 60 64 2 62 4
 38 17 34 29 32 39 22 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 38 17 34 29 49 22 39 32
 7 55 6 60 4 62 2 64 45 25 44 28 19 35 23 41

39149/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 41 25 34 45 27 42 30 16 41 25 34 30 42 27 45
 48 29 39 28 33 21 43 19 48 29 39 28 19 43 21 33
 46 22 44 32 37 26 36 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 35 23 38 20 31 40 24 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 35 23 38 20 49 24 40 31
 7 55 6 60 4 62 2 64 46 22 44 32 17 36 26 37

56341/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 39 25 36 38 31 45 30 16 39 25 36 30 45 31 38
 48 24 44 28 42 22 33 19 48 24 44 28 19 33 22 42
 46 32 43 23 37 21 41 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 35 20 34 27 29 40 26 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 35 20 34 27 49 26 40 29
 7 55 6 60 4 62 2 64 46 32 43 23 17 41 21 37

5701/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 46 29 33 35 31 42 28 16 46 29 33 28 42 31 35
 48 24 38 26 40 20 43 21 48 24 38 26 21 43 20 40
 44 22 45 25 39 27 41 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 37 23 34 30 32 36 19 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 37 23 34 30 49 19 36 32
 7 55 6 60 4 62 2 64 44 22 45 25 17 41 27 39

14829/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 44 27 33 36 31 43 30 16 44 27 33 30 43 31 36
 48 23 45 24 37 25 39 19 48 23 45 24 19 39 25 37
 46 26 40 28 41 20 42 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 35 22 34 29 32 38 21 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 35 22 34 29 49 21 38 32
 7 55 6 60 4 62 2 64 46 26 40 28 17 42 20 41

25761/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 42 25 33 38 31 45 30 16 42 25 33 30 45 31 38
 48 24 44 28 39 22 36 19 48 24 44 28 19 36 22 39
 46 29 43 26 37 21 41 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 35 20 34 27 32 40 23 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 35 20 34 27 49 23 40 32
 7 55 6 60 4 62 2 64 46 29 43 26 17 41 21 37

43573/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 40 26 36 37 31 44 30 16 40 26 36 30 44 31 37
 48 22 45 27 42 24 33 19 48 22 45 27 19 33 24 42
 46 32 41 23 38 20 43 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 35 21 34 28 29 39 25 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 35 21 34 28 49 25 39 29
 7 55 6 60 4 62 2 64 46 32 41 23 17 43 20 38

63301/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58 1 63 3 61 58 10 59 5
 57 9 54 12 52 14 47 15 57 9 54 12 15 47 14 52
 16 38 25 37 39 31 44 30 16 38 25 37 30 44 31 39
 48 32 42 22 36 20 41 19 48 32 42 22 19 41 20 36
 46 24 45 29 43 23 33 17 7 55 6 60 64 2 62 4
 35 21 34 26 28 40 27 49 50 18 51 13 8 56 11 53
 50 18 51 13 53 11 56 8 35 21 34 26 49 27 40 28
 7 55 6 60 4 62 2 64 46 24 45 29 17 33 23 43

77225/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 37 25 38 44 32 39 29
 48 30 42 24 34 19 43 20
 45 22 46 31 41 23 35 17
 36 26 33 21 27 40 28 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

109853/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 35 25 38 44 34 46 22
 45 33 42 26 36 17 37 24
 41 28 48 29 39 23 32 20
 43 19 31 21 27 40 30 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

132517/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 33 25 42 45 31 38 30
 48 29 43 24 37 21 39 19
 46 26 44 28 41 22 36 17
 35 27 34 20 23 40 32 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

158069/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 31 26 43 46 25 44 29
 48 30 42 24 37 27 32 20
 45 33 38 28 41 23 35 17
 36 21 40 19 22 39 34 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

177977/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 29 26 43 48 31 40 27
 46 28 42 30 41 21 32 20
 45 33 44 24 35 23 37 19
 38 25 34 17 22 39 36 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

195513/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 27 28 45 48 30 41 25
 46 31 44 23 36 26 32 22
 43 33 39 29 42 21 34 19
 40 24 35 17 20 37 38 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

.

OK!

** Original versions were dictated by Kanji Setsuda in 2000, 2006, 2008;

Recompiled by 摂田 寛二 on July 31, 2017 with macOS Sierra 10.12.6 and Xcode 7.3; **

87257/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 36 25 39 41 32 43 28
 48 30 46 20 34 23 38 21
 44 27 42 31 45 19 35 17
 37 22 33 24 26 40 29 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

119573/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 34 25 41 42 27 45 30
 48 29 39 28 43 21 33 19
 46 32 44 22 37 26 36 17
 35 20 38 23 24 40 31 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

139369/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 32 25 39 42 36 43 27
 46 30 48 24 37 21 34 20
 45 31 44 28 41 17 35 19
 38 22 29 23 26 40 33 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

166977/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 30 25 42 46 31 41 29
 48 28 44 27 39 22 32 20
 45 33 43 26 38 21 37 17
 36 24 34 19 23 40 35 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

184517/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 28 26 43 46 31 41 29
 48 30 44 25 38 23 32 20
 45 33 42 27 40 21 35 17
 36 24 34 19 22 39 37 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

201293/S /C

1 63 3 61 5 59 10 58
 57 9 54 12 52 14 47 15
 16 26 27 42 46 31 43 29
 48 32 44 25 37 24 30 20
 45 35 41 28 40 21 33 17
 36 22 34 19 23 38 39 49
 50 18 51 13 53 11 56 8
 7 55 6 60 4 62 2 64

第2節：完全八方陣の代数的研究

0. 「完全八方陣」とは古い呼称で、今は「八次の汎対角線型魔方陣」の方が通りが良いが、行列の逐次移動が可能な方陣のことを言う。最上行を最下行の下に持って来て新しい八方陣を作っても、諸条件を満たす。最下行を最上行の上に持って来ても良い。また最左列を最右列の右に持って来ても、諸条件を満たす。逆に最右列を最左列の左に移しても良い。これらの移動を何回繰り返しても良い。混合して行っても良い。

新しく出来た方陣の対角線の定和が全て成り立つために、元の方陣の対角線と平行な斜めの8数の定和がすべて成り立つ必要がある。この多数の対角線のことを「汎対角線」と言う。汎魔方陣の名の由来である。

いつものように基本条件を図と式によって下のように定義する。1～64の自然数を全個重複なく用いて、次の諸条件を全て満たさなければならない。

1. 基本ポジションを拡張空間にして示す。数字は、 nN の n を省いたポジション名で、以下の連立方程式では変数名になるものだ。

59	60	61	62	63	64	57	58	59	60	61	62	63	64	57	58	59	60	61	62
3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6
11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22
27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30
35	36	37	38	39	40	33	34	35	36	37	38	39	40	33	34	35	36	37	38
43	44	45	46	47	48	41	42	43	44	45	46	47	48	41	42	43	44	45	46
51	52	53	54	55	56	49	50	51	52	53	54	55	56	49	50	51	52	53	54
59	60	61	62	63	64	57	58	59	60	61	62	63	64	57	58	59	60	61	62
3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6

2. 定義の連立方程式群 [(17)～(32)式は、汎対角線の8数定和を表している。

$$n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 = K \quad \dots (1)$$

$$n_9 + n_{10} + n_{11} + n_{12} + n_{13} + n_{14} + n_{15} + n_{16} = K \quad \dots (2)$$

$$n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} = K \quad \dots (3)$$

$$n_{25} + n_{26} + n_{27} + n_{28} + n_{29} + n_{30} + n_{31} + n_{32} = K \quad \dots (4)$$

$$n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} = K \quad \dots (5)$$

$$n_{41} + n_{42} + n_{43} + n_{44} + n_{45} + n_{46} + n_{47} + n_{48} = K \quad \dots (6)$$

$$n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} = K \quad \dots (7)$$

$$n_{57} + n_{58} + n_{59} + n_{60} + n_{61} + n_{62} + n_{63} + n_{64} = K \quad \dots (8)$$

$$n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25} + n_{33} + n_{41} + n_{49} + n_{57} = K \quad \dots (9)$$

$$n_2 + n_{10} + n_{18} + n_{26} + n_{34} + n_{42} + n_{50} + n_{58} = K \quad \dots (10)$$

$$n_3 + n_{11} + n_{19} + n_{27} + n_{35} + n_{43} + n_{51} + n_{59} = K \quad \dots (11)$$

$$n_4 + n_{12} + n_{20} + n_{28} + n_{36} + n_{44} + n_{52} + n_{60} = K \quad \dots (12)$$

$$n_5 + n_{13} + n_{21} + n_{29} + n_{37} + n_{45} + n_{53} + n_{61} = K \quad \dots (13)$$

$$n_6 + n_{14} + n_{22} + n_{30} + n_{38} + n_{46} + n_{54} + n_{62} = K \quad \dots (14)$$

$$n_7 + n_{15} + n_{23} + n_{31} + n_{39} + n_{47} + n_{55} + n_{63} = K \quad \dots (15)$$

$$n_8 + n_{16} + n_{24} + n_{32} + n_{40} + n_{48} + n_{56} + n_{64} = K \quad \dots (16)$$

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = K \quad \dots (17)$$

$$n_1 + n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{37} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = K \quad \dots (18)$$

$$n_2 + n_9 + n_{24} + n_{31} + n_{38} + n_{45} + n_{52} + n_{59} = K \dots (19)$$

$$n_2 + n_{11} + n_{20} + n_{29} + n_{38} + n_{47} + n_{56} + n_{57} = K \dots (20)$$

$$n_3 + n_{10} + n_{17} + n_{32} + n_{39} + n_{46} + n_{53} + n_{60} = K \dots (21)$$

$$n_3 + n_{12} + n_{21} + n_{30} + n_{39} + n_{48} + n_{49} + n_{58} = K \dots (22)$$

$$n_4 + n_{11} + n_{18} + n_{25} + n_{40} + n_{47} + n_{54} + n_{61} = K \dots (23)$$

$$n_4 + n_{13} + n_{22} + n_{31} + n_{40} + n_{41} + n_{50} + n_{59} = K \dots (24)$$

$$n_5 + n_{12} + n_{19} + n_{26} + n_{33} + n_{48} + n_{55} + n_{62} = K \dots (25)$$

$$n_5 + n_{14} + n_{23} + n_{32} + n_{33} + n_{42} + n_{51} + n_{60} = K \dots (26)$$

$$n_6 + n_{13} + n_{20} + n_{27} + n_{34} + n_{41} + n_{56} + n_{63} = K \dots (27)$$

$$n_6 + n_{15} + n_{24} + n_{25} + n_{34} + n_{43} + n_{52} + n_{61} = K \dots (28)$$

$$n_7 + n_{14} + n_{21} + n_{28} + n_{35} + n_{42} + n_{49} + n_{64} = K \dots (29)$$

$$n_7 + n_{16} + n_{17} + n_{26} + n_{35} + n_{44} + n_{53} + n_{62} = K \dots (30)$$

$$n_8 + n_9 + n_{18} + n_{27} + n_{36} + n_{45} + n_{54} + n_{63} = K \dots (31)$$

$$n_8 + n_{15} + n_{22} + n_{29} + n_{36} + n_{43} + n_{50} + n_{57} = K \dots (32)$$

先にKの値を計算しておこう。(1)～(8)の辺々を加える。

$$n_1 + n_2 + n_3 + \dots + n_{63} + n_{64} = 8 * K$$

この式の左辺には1～64の自然数が全個重複なく入るから、その総数は、

$$64 \times 65 \div 2 = 8 * K$$

$$\therefore K = 260 \dots (33)$$

3. 複数の方程式を閲わらせて、関係式をさがす。

最初に愚痴を言っておくが、八方陣ともなると、全ての条件が最初から $(\dots + \dots + \dots + \dots + \dots + \dots + \dots + \dots)$ の形で与えられる。途中の計算でも、この長い連鎖を扱うために作業がとかく煩雑になりがちだ。狙いとしては少しでも式を短くしたいのだが、たいていが $\{(\dots + \dots + \dots + \dots) + (\dots + \dots + \dots + \dots)\} = K$ や $(\dots + \dots)$ の和の形になるだけで、必ずしも簡単にはならない。

仕方が無いから、例えば4項ずつをまとめて、S1, S2, S3, ……, S9などと置いて、大局的に論じるしかなくなる。

それでも、必ずしも扱いやすくはならないのが、高次方陣の頭の痛い点だ。

先ず汎対角線の意味を理解することに努めよう。

n1を通る対角線は(17), (18)式だが、

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = K \dots (17)$$

$$n_1 + n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{37} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = K \dots (18)$$

この2本の汎対角線が交錯する所にn37があるから、n1とn37を共通項として含む。よって、

$$n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = K - (n_1 + n_{37}) \dots (17)',$$

$$n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = K - (n_1 + n_{37}) \dots (18)',$$
から

$$\therefore n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = K - (n_1 + n_{37}) \dots (34)$$

同様にしてn2, n3, ……, n8を通る汎対角線の式から、

$$n_9 + n_{24} + n_{31} + n_{45} + n_{52} + n_{59} = n_{11} + n_{20} + n_{29} + n_{47} + n_{56} + n_{57} = K - (n_2 + n_{38}) \dots (35)$$

$$n_{10} + n_{17} + n_{32} + n_{46} + n_{53} + n_{60} = n_{12} + n_{21} + n_{30} + n_{48} + n_{49} + n_{58} = K - (n_3 + n_{39}) \dots (36)$$

$$n_{11} + n_{18} + n_{25} + n_{47} + n_{54} + n_{61} = n_{13} + n_{22} + n_{31} + n_{41} + n_{50} + n_{59} = K - (n_4 + n_{40}) \dots (37)$$

$$n_{12} + n_{19} + n_{26} + n_{48} + n_{55} + n_{62} = n_{14} + n_{23} + n_{32} + n_{42} + n_{51} + n_{60} = K - (n_5 + n_{33}) \dots (38)$$

$$n_{13} + n_{20} + n_{27} + n_{41} + n_{56} + n_{63} = n_{15} + n_{24} + n_{25} + n_{43} + n_{52} + n_{61} = K - (n_6 + n_{34}) \dots (39)$$

$$n_{14} + n_{21} + n_{28} + n_{42} + n_{49} + n_{64} = n_{16} + n_{17} + n_{26} + n_{44} + n_{53} + n_{62} = K - (n_7 + n_{35}) \dots (40)$$

$$n_9 + n_{18} + n_{27} + n_{45} + n_{54} + n_{63} = n_{15} + n_{22} + n_{29} + n_{43} + n_{50} + n_{57} = K - (n_8 + n_{36}) \dots (41)$$

などが言える。

次に2本ずつの汎対角線の式を加えてみる。

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = K \dots (17)$$

+) $n_1 + n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{37} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = K \dots (18)$

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} + n_1 + n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{37} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = 2 * K$$

共通項を 左辺から右辺に移項し、左辺に残った項を組み換えてみる。

$$(n_{10} + n_{16} + n_{58} + n_{64}) + (n_{19} + n_{23} + n_{51} + n_{55}) + (n_{28} + n_{30} + n_{44} + n_{46}) = 2 * \{K - (n_1 + n_{37})\} \dots (42)$$

これは、 n_1 および n_{37} を対角線の交点とする大小の正方形の頂点連結 4 数の和に関する式だ。

同様にして、

$$n_5 + n_{12} + n_{19} + n_{26} + n_{33} + n_{48} + n_{55} + n_{62} = K \dots (25)$$

$$+ n_5 + n_{14} + n_{23} + n_{32} + n_{33} + n_{42} + n_{51} + n_{60} = K \dots (26)$$

$$\{n_{12} + n_{14} + n_{60} + n_{62}\} + (n_{19} + n_{23} + n_{51} + n_{55}) + (n_{26} + n_{32} + n_{42} + n_{48}) = 2 * \{K - (n_5 + n_{33})\} \dots (46)$$

25	26	27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25
33	34	35	36	37	38	39	40	33	34	35	36	37	38	39	40	33
41	42	43	44	45	46	47	48	41	42	43	44	45	46	47	48	41
49	50	51	52	53	54	55	56	49	50	51	52	53	54	55	56	49
57	58	59	60	61	62	63	64	57	58	59	60	61	62	63	64	57
1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1
9	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	16	9
17	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	24	17
25	26	27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25
33	34	35	36	37	38	39	40	33	34	35	36	37	38	39	40	33
41	42	43	44	45	46	47	48	41	42	43	44	45	46	47	48	41

ここで方陣内部の五方陣サイズの正方形 16 個の頂点 4 数を連結させて、次のようにまとめる。

$$n_1 + n_5 + n_{33} + n_{37} = S_{01}, \quad n_2 + n_6 + n_{34} + n_{38} = S_{02}, \quad n_3 + n_7 + n_{35} + n_{39} = S_{03},$$

$$n_4 + n_8 + n_{36} + n_{40} = S_{04}, \quad n_9 + n_{13} + n_{41} + n_{45} = S_{09}, \quad n_{10} + n_{14} + n_{42} + n_{46} = S_{10},$$

$$n_{11} + n_{15} + n_{43} + n_{47} = S_{11}, \quad n_{12} + n_{16} + n_{44} + n_{48} = S_{12}, \quad n_{17} + n_{21} + n_{49} + n_{63} = S_{17},$$

$$n_{18} + n_{22} + n_{50} + n_{54} = S_{18}, \quad n_{19} + n_{23} + n_{51} + n_{55} = S_{19}, \quad n_{20} + n_{24} + n_{52} + n_{56} = S_{20},$$

$$n_{25} + n_{29} + n_{57} + n_{61} = S_{25}, \quad n_{26} + n_{30} + n_{58} + n_{62} = S_{26}, \quad n_{27} + n_{31} + n_{59} + n_{63} = S_{27},$$

$$n_{28} + n_{32} + n_{60} + n_{64} = S_{28}$$

試みにこれによって (42), (46) 式を書き換えるながら、加えてみる。

$$(n_{10} + n_{16} + n_{58} + n_{64}) + S_{19} + (n_{28} + n_{30} + n_{44} + n_{46}) = 2 * \{K - (n_1 + n_{37})\} \dots (42)',$$

$$\{n_{12} + n_{14} + n_{60} + n_{62}\} + S_{19} + (n_{26} + n_{32} + n_{42} + n_{48}) = 2 * \{K - (n_5 + n_{33})\} \dots (46)', (+$$

$$2 * S_{19} + (n_{10} + n_{16} + n_{58} + n_{64} + n_{28} + n_{30} + n_{44} + n_{46}) + (n_{12} + n_{14} + n_{60} + n_{62} + n_{26} + n_{32} + n_{42} + n_{48})$$

$$= 4 * K - 2 * (n_1 + n_5 + n_{37} + n_{33})$$

$$2 * S_{19} + (n_{10} + n_{14} + n_{42} + n_{46}) + (n_{12} + n_{16} + n_{44} + n_{48}) + (n_{26} + n_{30} + n_{58} + n_{62}) + (n_{28} + n_{32} + n_{60} + n_{64})$$

$$= 4 * K - 2 * (n_1 + n_5 + n_{37} + n_{33})$$

$$2 * S_{01} + 2 * S_{19} + S_{10} + S_{12} + S_{26} + S_{28} = 4 * K \dots (48)$$

次に 10 本の式を選んで辺々を加える。

$$n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 = K \dots (1)$$

$$n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} = K \dots (3)$$

$$n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} = K \dots (5)$$

$$n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} = K \dots (7)$$

$$n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25} + n_{33} + n_{41} + n_{49} + n_{57} = K \dots (9)$$

$$n_5 + n_{13} + n_{21} + n_{29} + n_{37} + n_{45} + n_{53} + n_{61} = K \dots (13)$$

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + n_{37} + n_{46} + n_{55} + n_{64} = K \dots (17)$$

$$n_1 + n_{16} + n_{23} + n_{30} + n_{37} + n_{44} + n_{51} + n_{58} = K \dots (18)$$

$$n_5 + n_{12} + n_{19} + n_{26} + n_{33} + n_{48} + n_{55} + n_{62} = K \dots (25)$$

$$+) n_5 + n_{14} + n_{23} + n_{32} + n_{33} + n_{42} + n_{51} + n_{60} = K \dots (26)$$

$$3 * (n_1 + n_5 + n_{33} + n_{37}) + 2 * (n_{19} + n_{23} + n_{51} + n_{55}) + (n_{17} + n_{21} + n_{49} + n_{53}) + \{n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 + n_9 + n_{10} + n_{12} + n_{13} + n_{14} + n_{16} + n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} + n_{25} + n_{26} + n_{28} + n_{29} + n_{30} + n_{32} + n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} + n_{41} + n_{44} + n_{42} + n_{45} + n_{46} + n_{48} + n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} + n_{57} + n_{58} + n_{60} + n_{61} + n_{62} + n_{64}\} = 10 * K$$

両辺に $\{n_{11} + n_{15} + n_{27} + n_{31} + n_{43} + n_{47} + n_{59} + n_{63}\}$ を加える。

$$3 * S_{01} + 2 * S_{19} + S_{17} + \{n_1 + n_2 + n_3 + \dots + n_{63} + n_{64}\}$$

$$= 10 * K + \{n_{11} + n_{15} + n_{27} + n_{31} + n_{43} + n_{47} + n_{59} + n_{63}\}$$

$$\{n_1 + n_2 + n_3 + \dots + n_{63} + n_{64}\} = (64 \text{ 個の自然数の総和}) = 8 * K \text{ だから,}$$

$$3 * S_{01} + 2 * S_{19} + S_{17} + 8 * K = 10 * K + (n_{11} + n_{15} + n_{43} + n_{47}) + (n_{27} + n_{31} + n_{59} + n_{63})$$

つまり, $3 * S_{01} + 2 * S_{19} + S_{17} = 2 * K + S_{11} + S_{27} \dots (49)$

同様に

$$n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 = K \dots (1)$$

$$n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} = K \dots (3)$$

$$n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} = K \dots (5)$$

$$n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} = K \dots (7)$$

$$n_1 + n_9 + n_{17} + n_{25} + n_{33} + n_{41} + n_{49} + n_{57} = K \dots (9)$$

$$n_5 + n_{13} + n_{21} + n_{29} + n_{37} + n_{45} + n_{53} + n_{61} = K \dots (13)$$

$$n_3 + n_{10} + n_{17} + n_{32} + n_{39} + n_{46} + n_{53} + n_{60} = K \dots (21)$$

$$n_3 + n_{12} + n_{21} + n_{30} + n_{39} + n_{48} + n_{49} + n_{58} = K \dots (22)$$

$$n_7 + n_{14} + n_{21} + n_{28} + n_{35} + n_{42} + n_{49} + n_{64} = K \dots (29)$$

$$+) n_7 + n_{16} + n_{17} + n_{26} + n_{35} + n_{44} + n_{53} + n_{62} = K \dots (30)$$

$$3 * (n_{17} + n_{21} + n_{49} + n_{53}) + 2 * (n_3 + n_7 + n_{35} + n_{39}) + (n_1 + n_5 + n_{33} + n_{37}) + \{n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 + n_9 + n_{10} + n_{12} + n_{13} + n_{14} + n_{16} + n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} + n_{25} + n_{26} + n_{28} + n_{29} + n_{30} + n_{32} + n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} + n_{41} + n_{42} + n_{44} + n_{45} + n_{46} + n_{48} + n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} + n_{57} + n_{58} + n_{60} + n_{61} + n_{62} + n_{64}\} = 10 * K$$

両辺に $\{n_{11} + n_{15} + n_{27} + n_{31} + n_{43} + n_{47} + n_{59} + n_{63}\}$ を加える。

$$3 * S_{17} + 2 * S_{03} + S_{01} + \{n_1 + n_2 + n_3 + \dots + n_{63} + n_{64}\}$$

$$= 10 * K + \{n_{11} + n_{15} + n_{27} + n_{31} + n_{43} + n_{47} + n_{59} + n_{63}\} \quad \uparrow (= 8 * K)$$

$$3 * S_{17} + 2 * S_{03} + S_{01} = 2 * K + (n_{11} + n_{15} + n_{43} + n_{47}) + (n_{27} + n_{31} + n_{59} + n_{63})$$

つまり, $3 * S_{17} + 2 * S_{03} + S_{01} = 2 * K + S_{11} + S_{27} \dots (50)$ ということ。

(49) - (50) は, $3 * S_{01} + 2 * S_{19} + S_{17} = 2 * K + S_{11} + S_{27} \dots (49)'$

$$-) 3 * S_{17} + 2 * S_{03} + S_{01} = 2 * K + S_{11} + S_{27} \dots (50)'$$

$$2 * S_{01} - 2 * S_{17} + 2 * S_{19} - 2 * S_{03} = 0$$

$$\therefore S_{01} + S_{19} = S_{03} + S_{17} \dots (51)$$

同様に

$$n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 = K \dots (1)$$

$$n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} = K \dots (3)$$

$$n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} = K \dots (5)$$

$$n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} = K \dots (7)$$

$$n_3 + n_{11} + n_{19} + n_{27} + n_{35} + n_{43} + n_{51} + n_{59} = K \dots (11)$$

$$n_7 + n_{15} + n_{23} + n_{31} + n_{39} + n_{47} + n_{55} + n_{63} = K \dots (15)$$

$$n_3 + n_{10} + n_{17} + n_{32} + n_{39} + n_{46} + n_{53} + n_{60} = K \dots (21)$$

$$n_3 + n_{12} + n_{21} + n_{30} + n_{39} + n_{48} + n_{49} + n_{58} = K \dots (22)$$

$$n_7 + n_{14} + n_{21} + n_{28} + n_{35} + n_{42} + n_{49} + n_{64} = K \dots (29)$$

$$+) n_7 + n_{16} + n_{17} + n_{26} + n_{35} + n_{44} + n_{53} + n_{62} = K \dots (30)$$

$$3 * (n_3 + n_7 + n_{35} + n_{39}) + 2 * (n_{17} + n_{21} + n_{49} + n_{53}) + (n_{19} + n_{23} + n_{51} + n_{55}) + \{n_1 + n_2 + n_3 + n_4 + n_5 + n_6 + n_7 + n_8 + n_9 + n_{10} + n_{11} + n_{12} + n_{14} + n_{15} + n_{16} + n_{17} + n_{18} + n_{19} + n_{20} + n_{21} + n_{22} + n_{23} + n_{24} + n_{25} + n_{26} + n_{27} + n_{28} + n_{30} + n_{31} + n_{32} + n_{33} + n_{34} + n_{35} + n_{36} + n_{37} + n_{38} + n_{39} + n_{40} + n_{42} + n_{43} + n_{44} + n_{46} + n_{47} + n_{48} + n_{49} + n_{50} + n_{51} + n_{52} + n_{53} + n_{54} + n_{55} + n_{56} + n_{57} + n_{58} + n_{60} + n_{61} + n_{62} + n_{63} + n_{64}\} = 10 * K$$

両辺に $\{n_9 + n_{13} + n_{25} + n_{29} + n_{41} + n_{45} + n_{57} + n_{61}\}$ を加える。

$$3 * S_{03} + 2 * S_{17} + S_{19} + \{n_1 + n_2 + n_3 + \dots + n_{63} + n_{64}\}$$

$$=10*K + (n_9 + n_{13} + n_{41} + n_{45}) + (n_{25} + n_{29} + n_{57} + n_{61})$$

$$3*S_{03} + 2*S_{17} + S_{19} + 8*K = 10*K + S_{09} + S_{25}$$

ゆえに, $3*S_{03} + 2*S_{17} + S_{19} = 2*K + S_{09} + S_{25} \dots \dots (52)$

↑ ($=8*K$)

ここで, $S_n + \dots$ を含む式を集めて, 整理してみよう。

(49), (52)式の辺々を加えて整理する。

$$3*S_{01} + 2*S_{19} + S_{17} = 2*K + S_{11} + S_{27} \dots \dots (49)$$

+) $3*S_{03} + 2*S_{17} + S_{19} = 2*K + S_{09} + S_{25} \dots \dots (52)$

$$3*S_{01} + 3*S_{03} + 3*S_{19} + 3*S_{17} = 4*K + S_{09} + S_{11} + S_{25} + S_{27}$$

これを $S_{01} + S_{19} = S_{03} + S_{17} \dots \dots (51)$ を用いて書き換えよう。

$$6*S_{01} + 6*S_{19} = 4*K + S_{09} + S_{11} + S_{25} + S_{27} \dots \dots (53)$$

これと(48)式を加える。

$$2*S_{01} + 2*S_{19} + S_{10} + S_{12} + S_{26} + S_{28} = 4*K \dots \dots (48)$$

+) $6*S_{01} + 6*S_{19} = 4*K + S_{09} + S_{11} + S_{25} + S_{27} \dots \dots (53)$

$$8*S_{01} + 8*S_{19} + (S_{10} + S_{12} + S_{26} + S_{28}) = 8*K + (S_{09} + S_{11} + S_{25} + S_{27})$$

この式の意味は, $S_{10} + S_{12} + S_{26} + S_{28} = S_{09} + S_{11} + S_{25} + S_{27}$ ならば,

$$8*S_{01} + 8*S_{19} = 8*K \text{ すなわち } S_{01} + S_{19} = K \text{ が成り立つということだ。}$$

これを(51)式に戻せば,

$$S_{01} + S_{19} = S_{03} + S_{17} = K \dots \dots (51)'$$

すなわち

$$n_1 + n_5 + n_{33} + n_{37} + n_{19} + n_{23} + n_{51} + n_{55} = n_3 + n_7 + n_{35} + n_{39} + n_{17} + n_{21} + n_{49} + n_{53} = K$$

2項ずつ組み合わせれば,

$$(n_1 + n_{37}) + (n_5 + n_{33}) + (n_{19} + n_{55}) + (n_{23} + n_{51}) \\ = (n_3 + n_{39}) + (n_7 + n_{35}) + (n_{17} + n_{53}) + (n_{21} + n_{49}) = K$$

これが成り立つためには, 例えば

$$(n_1 + n_{37}) = (n_5 + n_{33}) = (n_{19} + n_{55}) = (n_{23} + n_{51}) \\ = (n_3 + n_{39}) = (n_7 + n_{35}) = (n_{17} + n_{53}) = (n_{21} + n_{49}) = K/4 = 65$$

であればよい。

.....

4. こんな計算を繰り返していても, なかなかラチがあかない。混沌の海に溺れ, ついにしびれを切らして, 一般的な汎八方陣の個性解析をここで諦める。

今は, こちらからわがままな要求をあえて出すことにしよう。「こんな方陣が作りたいが, 可能か」という美学的な問い合わせである(作成者にはそのくらいの権利がある!)。

さいわい八方陣くらいになると, 千手観音ほどに懐が深い。すぐにも願いを聞いてくれそうな豊穣な雰囲気がある。

実際, 一般的な汎魔方陣の解の総数は, おそらく億兆を超える幻想的な数字になりそうだ。そう推測される。それを1個ずつ作って行っても, あまり意味があるとも思えない。

それより自分の作りたいものを作りたい。もうそうしても良いのではないか。

三~五方陣では古典主義を守って来たが, 六方陣の「虚無の試練」を経て, 七~八方陣でこうしたロマン主義が芽生えて来た。それも必然の道筋という気がしている。

というわけで, 目標を少し変える。若干高くする。

「補数65型の完全八方陣」の構成をあえて目指す。その構造は, 点対称八方陣の変換構成法に教わり, 下図のような完全方陣を作ることにする。

つまり, $n_1 + n_{37} = 65$, $n_2 + n_{38} = 65$, $n_3 + n_{39} = 65$, $n_4 + n_{40} = 65$, $n_5 + n_{33} = 65$, ..., $n_{31} + n_{59} = 65$, $n_{32} + n_{60} = 65$ のような補数ペアを32組用意する。それを下図のように配置すると, 汎対角線の定和が成り立つのである。

【補数65型完全八方陣の構成図】

(補数表現型)

31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25	26
3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6
11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14
19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22
27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30
7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2
15	16	9	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	16	9	10
23	24	17	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	24	17	18
31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25	26	27	28	29	30	31	32	25	26
3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6

補数表現形で $n37=n_1$, $n38=n_2$, $n39=n_3$, $n40=n_4$, ..., $n59=n_{31}$, $n60=n_{32}$, ..., とした図を用意した。上図で、汎対角線の定和が成り立つことを確かめてほしい。

$$n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28} + \underline{n_1 + n_{10} + n_{19} + n_{28}} = (n_1 + \underline{n_1}) + (n_{10} + \underline{n_{10}}) + (n_{19} + \underline{n_{19}}) + (n_{28} + \underline{n_{28}}) \\ = C + C + C + C = 4 * C = 4 \times 65 = 260 = K$$

$$n_2 + n_9 + n_{24} + n_{31} + \underline{n_2 + n_9 + n_{24} + n_{31}} = (n_2 + \underline{n_2}) + (n_9 + \underline{n_9}) + (n_{24} + \underline{n_{24}}) + (n_{31} + \underline{n_{31}}) \\ = C + C + C + C = K \dots \dots \dots$$

あとは、縦横の行列の定和が成り立ちさえすれば良いのである。

原型

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
5	6	7	8	1	2	3	4
13	14	15	16	9	10	11	12
21	22	23	24	17	18	19	20
29	30	31	32	25	26	27	28

上下(2-6)交換

1	2	3	4	5	6	7	8
13	14	15	16	9	10	11	12
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
5	6	7	8	1	2	3	4
9	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	17	18	19	20
29	30	31	32	25	26	27	28

上下(3-7)交換

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	17	18	19	20
25	26	27	28	29	30	31	32

上下(4-8)交換

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
29	30	31	32	25	26	27	28

5	6	7	8	1	2	3	4
13	14	15	16	9	10	11	12
17	18	19	20	21	22	23	24
29	30	31	32	25	26	27	28

5	6	7	8	1	2	3	4
13	14	15	16	9	10	11	12
21	22	23	24	17	18	19	20
25	26	27	28	29	30	31	32

上下(1-5)交換

5	6	7	8	1	2	3	4
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
1	2	3	4	5	6	7	8
13	14	15	16	9	10	11	12
21	22	23	24	17	18	19	20
29	30	31	32	25	26	27	28

上下(1-4) & (5-8) 交換

25	26	27	28	29	30	31	32
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
1	2	3	4	5	6	7	8
29	30	31	32	25	26	27	28
13	14	15	16	9	10	11	12
21	22	23	24	17	18	19	20
5	6	7	8	1	2	3	4

原型

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32
5	6	7	8	1	2	3	4
13	14	15	16	9	10	11	12
21	22	23	24	17	18	19	20
29	30	31	32	25	26	27	28

上下(2-8) & (3-7) & (4-6) 交換

1	2	3	4	5	6	7	8
29	30	31	32	25	26	27	28
21	22	23	24	17	18	19	20
13	14	15	16	9	10	11	12
5	6	7	8	1	2	3	4
25	26	27	28	29	30	31	32
17	18	19	20	21	22	23	24
9	10	11	12	13	14	15	16

方陣の具体的な構成は、補数ペアの存在によってずいぶんと楽になる。

n_1 を決めれば、 $n_1 (=65-n_1)$ が決まるので、それを n_{37} に入れれば良い。 n_2 を決めれば、 $n_2 (=65-n_2)$ が決まるので、それを n_{38} に入れれば良い。……

第1行を決めれば、第5行も決まる。第1列を決めれば、第5列も決まる。

……というふうにペアで決まって行くので、手間ひまが劇的に減る。

5. 次に方陣の内部で行列の交換がどの程度可能かを考察する。異形・派生形の検討をしないでいると、無用の解を重複計数してしまう心配がある。

上のいずれの交換も可能である。こうした交換を適宜組み合わせることによって、異形・

派生形を多数作ることができる。それらを別々の1個と数えないために、次のような方策を講じる。

(1) 標準状態として $n_1 = 1$ の方陣を仮定する。

(2) 不等式を立てる。左右上下ともに無用の行列交換を禁止するために

$n_2 > n_6, n_3 < n_7, n_4 > n_8, n_9 > n_{41}, n_{17} < n_{49}, n_{25} > n_{57}$ とする。

また $n_2 > n_3, n_3 < n_4$ とする。

方陣の左右反転や回転移動が起こらないようにするために $n_5 < n_{33}$ とすることも忘れてはならない。

不等号の向きはどう決めてもかまわないが、一度決めた条件を途中で変えてはいけない。

6. 解は、無数に出て来る。その最初の一部をリストにして後の別頁に示す。

パソコンでいくら数えても、まるで先が見えない。総数計数のカウントアップは、いかんせん途中で諦めざるを得ない。

折角の補数65型の完全八方陣であるから、補数対称八方陣の場合とプログラムの標準化・共通化をはかり、不等式など条件の立て方を同格にする。そうすると、解の出方が全く同じになる。次の2種類の解のリストは、全然別個のプログラムで求めたものだが、見事に似ている。例の変換構成法によって「一対一対応」を想定して良いことが、これでもわかる。

補数65型の完全八方陣を点対称八方陣に作り替える方法は、全く同じ手順を踏む。
左右方向でも上下方向でも、第4～8行／列を反転させるだけである。

完全八方陣では、 $n_1 + \underline{n_1} = n_1 + n_{37} = 65$ のことだったが、対称方陣では、 $n_1 + n_{64} = 65$ でなければならない。それが下の右図では実現している。

$n_2 + \underline{n_2} = n_2 + n_{63} = 65$

$n_3 + \underline{n_3} = n_3 + n_{62} = 65$

.....

$n_{30} + \underline{n_{30}} = n_{30} + n_{35} = 65$

$n_{31} + \underline{n_{31}} = n_{31} + n_{34} = 65$

も成り立っている。

[Program List]

```
//
/* Type Conversion */
//*
// 1 2 3 4 5 6 7 8   1 2 3 4 8 7 6 5
// 9 10 11 12 13 14 15 16  9 10 11 12 16 15 14 13
// 17 18 19 20 21 22 23 24 17 18 19 20 24 23 22 21
// 25 26 27 28 29 30 31 32 25 26 27 28 32 31 30 29
// 33 34 35 36 37 38 39 40 57 58 59 60 64 63 62 61
// 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 56 55 54 53
// 49 50 51 52 53 54 55 56 41 42 43 44 48 47 46 45
// 57 58 59 60 61 62 63 64 33 34 35 36 40 39 38 37
//
void tconv(void){
    tn[1]=nm[1];    tn[2]=nm[2];    tn[3]=nm[3];    tn[4]=nm[4];
    tn[5]=nm[8];    tn[6]=nm[7];    tn[7]=nm[6];    tn[8]=nm[5];
    tn[9]=nm[9];    tn[10]=nm[10];  tn[11]=nm[11];  tn[12]=nm[12];
    tn[13]=nm[16];  tn[14]=nm[15];  tn[15]=nm[14];  tn[16]=nm[13];
    tn[17]=nm[17];  tn[18]=nm[18];  tn[19]=nm[19];  tn[20]=nm[20];
    tn[21]=nm[24];  tn[22]=nm[23];  tn[23]=nm[22];  tn[24]=nm[21];
```

```

tn[25]=nm[25]; tn[26]=nm[26]; tn[27]=nm[27]; tn[28]=nm[28];
tn[29]=nm[32]; tn[30]=nm[31]; tn[31]=nm[30]; tn[32]=nm[29];
tn[33]=nm[57]; tn[34]=nm[58]; tn[35]=nm[59]; tn[36]=nm[60];
tn[37]=nm[64]; tn[38]=nm[63]; tn[39]=nm[62]; tn[40]=nm[61];
tn[41]=nm[49]; tn[42]=nm[50]; tn[43]=nm[51]; tn[44]=nm[52];
tn[45]=nm[56]; tn[46]=nm[55]; tn[47]=nm[54]; tn[48]=nm[53];
tn[49]=nm[41]; tn[50]=nm[42]; tn[51]=nm[43]; tn[52]=nm[44];
tn[53]=nm[48]; tn[54]=nm[47]; tn[55]=nm[46]; tn[56]=nm[45];
tn[57]=nm[33]; tn[58]=nm[34]; tn[59]=nm[35]; tn[60]=nm[36];
tn[61]=nm[40]; tn[62]=nm[39]; tn[63]=nm[38]; tn[64]=nm[37];
}
//
```

もちろん、対角線の定和も行列の定和も保たれている。

変換構成法のこの可逆性が、一対一対応の根拠である。

したがって、いかに解が無数にあろうとも、解の総数は同じであると推理して良い。

補数 65 型の完全八方陣と、補数対称八方陣には、まるで別姓を名乗らされた双児のような関係がある。貴い由緒は、変換構成法という「DNA鑑定」によって証明される。

(On November 7, 2000(初稿) : MacOS9 & MWCW による計数;

August 17, 2008(清書稿) : MacOSX & Xcode3.0: by 摂田 寛二(Kanji Setsuda);

August 2, 2017(再計算清書稿) : macOS Sierra 10.12.6 & Xcode7.3;)

E-Mail Address: jag12001@nifty.com

【データ・リスト】 次ページをご覧いただきたい。

* 補数 65 型完全八方陣の標準解のリスト(一部分)：変換した対称八方陣も併記した *

1/C /S

5701/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 48 31 33 25 43 29 35	16 48 31 33 35 29 43 25	16 46 29 33 28 42 31 35	16 46 29 33 35 31 42 28
45 26 38 23 21 46 24 37	45 26 38 23 37 24 46 21	48 24 38 26 21 43 20 40	48 24 38 26 40 20 43 21
7 55 6 60 64 2 62 4	44 19 41 28 42 27 39 20	7 55 6 60 64 2 62 4	44 22 45 25 39 27 41 17
50 18 51 13 8 56 11 53	40 22 36 30 32 34 17 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
40 22 36 30 49 17 34 32	50 18 51 13 53 11 56 8	37 23 34 30 49 19 36 32	37 23 34 30 32 36 19 49
44 19 41 28 20 39 27 42	7 55 6 60 4 62 2 64	44 22 45 25 17 41 27 39	44 22 45 25 7 55 6 60 4 62 2 64

10933/C /S

14829/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 45 28 33 26 48 30 34	16 45 28 33 34 30 48 26	16 44 27 33 30 43 31 36	16 44 27 33 36 31 43 30
46 29 40 23 21 41 22 38	46 29 40 23 38 22 41 21	48 23 45 24 19 39 25 37	48 23 45 24 37 25 39 19
7 55 6 60 64 2 62 4	44 24 43 27 42 25 36 19	7 55 6 60 64 2 62 4	46 26 40 28 41 20 42 17
50 18 51 13 8 56 11 53	39 17 35 31 32 37 20 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
39 17 35 31 49 20 37 32	50 18 51 13 53 11 56 8	35 22 34 29 49 21 38 32	35 22 34 29 32 38 21 49
44 24 43 27 19 36 25 42	7 55 6 60 4 62 2 64	46 26 40 28 17 42 20 41	46 26 40 28 7 55 6 60 4 62 2 64

21501/C /S

25761/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 43 26 33 27 48 31 36	16 43 26 33 36 31 48 27	16 42 25 33 30 45 31 38	16 42 25 33 38 31 45 30
46 30 42 24 20 40 21 37	46 30 42 24 37 21 40 20	48 24 44 28 19 36 22 39	48 24 44 28 39 22 36 19
7 55 6 60 64 2 62 4	45 25 44 28 41 23 35 19	7 55 6 60 64 2 62 4	46 29 43 26 37 21 41 17
50 18 51 13 8 56 11 53	38 17 34 29 32 39 22 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
38 17 34 29 49 22 39 32	50 18 51 13 53 11 56 8	35 20 34 27 49 23 40 32	35 20 34 27 32 40 23 49
45 25 44 28 19 35 23 41	7 55 6 60 4 62 2 64	46 29 43 26 17 41 21 37	46 29 43 26 7 55 6 60 4 62 2 64

39149/C /S

43573/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 41 25 34 30 42 27 45	16 41 25 34 45 27 42 30	16 40 26 36 30 44 31 37	16 40 26 36 37 31 44 30
48 29 39 28 19 43 21 33	48 29 39 28 33 21 43 19	48 22 45 27 19 33 24 42	48 22 45 27 42 24 33 19
7 55 6 60 64 2 62 4	46 22 44 32 37 26 36 17	7 55 6 60 64 2 62 4	46 32 41 23 38 20 43 17
50 18 51 13 8 56 11 53	35 23 38 20 31 40 24 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
35 23 38 20 49 24 40 31	50 18 51 13 53 11 56 8	35 21 34 28 49 25 39 29	35 21 34 28 29 39 25 49
46 22 44 32 17 36 26 37	7 55 6 60 4 62 2 64	46 32 41 23 17 43 20 38	46 32 41 23 7 55 6 60 4 62 2 64

56341/C /S

63301/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 39 25 36 30 45 31 38	16 39 25 36 38 31 45 30	16 38 25 37 30 44 31 39	16 38 25 37 39 31 44 30
48 24 44 28 19 33 22 42	48 24 44 28 42 22 33 19	48 32 42 22 19 41 20 36	48 32 42 22 36 20 41 19
7 55 6 60 64 2 62 4	46 32 43 23 37 21 41 17	7 55 6 60 64 2 62 4	46 24 45 29 43 23 33 17
50 18 51 13 8 56 11 53	35 20 34 27 29 40 26 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
35 20 34 27 49 26 40 29	50 18 51 13 53 11 56 8	35 21 34 26 49 27 40 28	35 21 34 26 28 40 27 49
46 32 43 23 17 41 21 37	7 55 6 60 4 62 2 64	46 24 45 29 17 33 23 43	46 24 45 29 7 55 6 60 4 62 2 64

77225/C /S

87257/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 37 25 38 29 39 32 44	16 37 25 38 44 32 39 29	16 36 25 39 28 43 32 41	16 36 25 39 41 32 43 28
48 30 42 24 20 43 19 34	48 30 42 24 34 19 43 20	48 30 46 20 21 38 23 34	48 30 46 20 34 23 38 21
7 55 6 60 64 2 62 4	45 22 46 31 41 23 35 17	7 55 6 60 64 2 62 4	44 27 42 31 45 19 35 17
50 18 51 13 8 56 11 53	36 26 33 21 27 40 28 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
36 26 33 21 49 28 40 27	50 18 51 13 53 11 56 8	37 22 33 24 49 29 40 26	37 22 33 24 26 40 29 49
45 22 46 31 17 35 23 41	7 55 6 60 4 62 2 64	44 27 42 31 17 35 19 45	44 27 42 31 7 55 6 60 4 62 2 64

109853/C /S

119573/C /S

1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58	1 63 3 61 58 10 59 5	1 63 3 61 5 59 10 58
57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15	57 9 54 12 15 47 14 52	57 9 54 12 52 14 47 15
16 35 25 38 22 46 34 44	16 35 25 38 44 34 46 22	16 34 25 41 30 45 27 42	16 34 25 41 42 27 45 30
45 33 42 26 24 37 17 36	45 33 42 26 36 17 37 24	48 29 39 28 19 33 21 43	48 29 39 28 43 21 33 19
7 55 6 60 64 2 62 4	41 28 48 29 39 23 32 20	7 55 6 60 64 2 62 4	46 32 44 22 37 26 36 17
50 18 51 13 8 56 11 53	43 19 31 21 27 40 30 49	50 18 51 13 8 56 11 53	50 18 51 13 8 56 11 49
43 19 31 21 49 30 40 27	50 18 51 13 53 11 56 8	35 20 38 23 49 31 40 24	35 20 38 23 24 40 31 49
41 28 48 29 20 32 23 39	7 55 6 60 4 62 2 64	46 32 44 22 17 36 26 37	46 32 44 22 7 55 6 60 4 62 2 64

* 補数対称型八方陣の解のリスト *

1/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	31	33	35	29	43	25	16	48	31	33	25	43	29	35
45	26	38	23	37	24	46	21	45	26	38	23	21	46	24	37
44	19	41	28	42	27	39	20	7	55	6	60	64	2	62	4
40	22	36	30	32	34	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	40	22	36	30	49	17	34	32
7	55	6	60	4	62	2	64	44	19	41	28	20	39	27	42

513/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	32	34	35	29	40	26	16	48	32	34	26	40	29	35
46	20	41	23	38	28	43	21	46	20	41	23	21	43	28	38
44	22	37	27	42	24	45	19	7	55	6	60	64	2	62	4
39	25	36	30	31	33	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	39	25	36	30	49	17	33	31
7	55	6	60	4	62	2	64	44	22	37	27	19	45	24	42

1461/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	35	34	32	29	40	26	16	48	35	34	26	40	29	32
46	20	38	23	41	28	43	21	46	20	38	23	21	43	28	41
44	22	37	24	42	27	45	19	7	55	6	60	64	2	62	4
39	25	36	33	31	30	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	39	25	36	33	49	17	30	31
7	55	6	60	4	62	2	64	44	22	37	24	19	45	27	42

2005/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	36	34	32	30	39	25	16	48	36	34	25	39	30	32
46	20	37	23	41	27	44	22	46	20	37	23	22	44	27	41
43	21	38	24	42	28	45	19	7	55	6	60	64	2	62	4
40	26	35	33	31	29	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	40	26	35	33	49	17	29	31
7	55	6	60	4	62	2	64	43	21	38	24	19	45	28	42

2787/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	37	34	32	30	39	24	16	48	37	34	24	39	30	32
46	21	36	22	40	27	45	23	46	21	36	22	23	45	27	40
42	20	38	25	43	29	44	19	7	55	6	60	64	2	62	4
41	26	35	33	31	28	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	41	26	35	33	49	17	28	31
7	55	6	60	4	62	2	64	42	20	38	25	19	44	29	43

3381/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	38	34	32	30	39	23	16	48	38	34	23	39	30	32
46	20	36	22	40	28	44	24	46	20	36	22	24	44	28	40
41	21	37	25	43	29	45	19	7	55	6	60	64	2	62	4
42	26	35	33	31	27	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	42	26	35	33	49	17	27	31
7	55	6	60	4	62	2	64	41	21	37	25	19	44	29	43

4125/S /C

1	63	3	61	5	59	10	58	1	63	3	61	58	10	59	5
57	9	54	12	52	14	47	15	57	9	54	12	15	47	14	52
16	48	39	34	35	28	40	20	16	48	39	34	20	40	28	35
43	19	32	29	44	27	42	24	43	19	32	29	24	42	27	44
41	23	38	21	36	33	46	22	7	55	6	60	64	2	62	4
45	25	37	30	31	26	17	49	50	18	51	13	8	56	11	53
50	18	51	13	53	11	56	8	45	25	37	30	49	17	26	31
7	55	6	60	4	62	2	64	41	23	38	21	22	46	33	36

* 補数 65 型完全八方陣の解のリスト *

1/C /S

1	63	3	61	58	10	59	5	1	63	3	61	5	59	10	58
57	9	54	12	15	47	14	52	57	9	54	12	52	14	47	15
16	48	31	33	25	43	29	35	16	48	31	33	35	29	43	25
45	26	38	23	21	46	24	37	45	26	38	23	37	24	46	21
7	55	6	60	64	2	62	4	44	19	41	28	42	27	39	20
50	18	51	13	8	56	11	53	40	22	36	30	32	34	17	49
40	22	36	30	49	17	34	32	50	18	51	13	53	11	56	8
44	19	41	28	20	39	27	42	7	55	6	60	4	62	2	64

513/C /S

1	63	3	61	58	10	59	5	1	63	3	61	5	59	10	58
57	9	54	12	15	47	14	52	57	9	54	12	52	14	47	15
16	48	32	34	26	40	29	35	16	48	32	34	35	29	40	26
46	20	41	23	21	43	28	38	46	20	41	23	38	28	43	21
7	55	6	60	64	2	62	4	44	22	37	27	42	24	45	19
50	18	51	13	8	56	11	53	39	25	36	30	31	33	17	49
39	25	36	30	49	17	33	31	50	18	51	13	53	11	56	8
44	22	37	27	19	45	24	42	7	55	6	60	4	62	2	64

1461/C /S

1	63	3	61	58	10	59	5	1	63	3	61	5	59	10	58
57	9	54	12	15	47	14	52	57	9	54	12	52	14	47	15
16	48	35	34	26	40	29	32	16	48	35	34	32	29	40	26
46	20	38	23	21	43	28	41	46	20	38	23	41	28	43	21
7	55	6	60	64	2	62	4	44	22	37	24	42	27	45	19
50	18	51	13	8	56	11	53	39	25	36	33	31	29	17	49
40	26	35	33	49	17	29	31	50	18	51	13	53	11	56	8
43	21	38	24	19	45	28	42	7	55	6	60	4	62	2	64

2787/C /S

1	63	3	61	58	10	59	5	1	63	3	61	5	59	10	58
57	9	54	12	15	47	14	52	57	9	54	12	52	14	47	15
16	48	37	34	24	39	30	32	16	48	37	34	32	30	39	24
46	21	36	22	23	45	27	40	46	21	36	22	40	27	45	23
7	55	6	60	64	2	62	4	42	20	38	25	43	29	44	19
50	18	51	13	8	56	11	53	41	26	35	33	31	28	17	49
41	26	35	33	49	17	28	31	50	18	51	13	53	11	56	8
42	20	38	25	19	44	29	43	7	55	6	60	4	62	2	64

3381/C /S

1	63	3	61	58	10	59	5	1	63	3	61	5	59	10	58
57	9	54	12	15	47	14	52	57	9	54	12	52	14	47	15
16	48	38	34	23	39	30	32	16	48	38	3				